博報堂教育財団

教職育成奨学金制度／活動紹介

公益財団法人 博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

＜博報教職育成奨学金の制度概要＞

【制度の趣旨】
・児童教育、国語教育の教員を目指す学生を対象とした奨学金給付制度。
・児童教育を支える未来の優秀な教育指導者の育成に貢献する。
・全国に広がる奨学生及び卒業生の輪が、
教育現場での＜学びあい、支え合いのネットワーク＞となり、
教育の質の向上や教育現場の活性化に寄与することを目指す。

【制度の特徴】
①教職志望者に対象を絞った完全給付型奨学金
②学費をほぼ全額カバーする奨学金を給付することで、
学業及び優れた教員になるために必要な活動に専念できる環境を提供する。
③児童教育財団としてのノウハウやファシリティを活用し、
特色ある研修プログラムを提供する。
④海外短期留学支援による、海外での経験を積む機会を提供する
⑤奨学生及び卒業生の交流を促進し、
全国の教育現場での＜学びあい、支え合いのネットワーク＞形成を目指す。

【奨学金給付対象者】
・推薦依頼大学から、以下の教員を目指す学生の推薦を受け、選考委員会による
選考により採用者を決定する。
①小学校教員　②特別支援学校教員　③中学校・高等学校の国語科教員

＜2020年度推薦依頼大学（59大学）＞
愛知教育大学／愛知淑徳大学／愛媛大学／茨城大学／宇都宮大学／大分大学／大阪大谷大学
大阪教育大学／岡山大学／香川大学／鹿児島大学／鎌倉女子大学／関西大学／関西学院大学
京都教育大学／岐阜聖徳学園大学／岐阜大学／熊本大学／群馬大学／慶応義塾大学／神戸大学
國學院大學／埼玉大学／静岡大学／淑徳大学 ／上越教育大学／信州大学／玉川大学／千葉大学
筑波大学／都留文科大学／帝京大学／東京学芸大学／東北福祉大学／東洋大学／同志社大学
長崎大学／奈良教育大学／鳴門教育大学／日本大学／兵庫教育大学／広島大学／福井大学
福岡教育大学／福島大学／佛教大学／文教大学／北海道教育大学／三重大学／宮城教育大学
宮崎大学／武庫川女子大学／明治大学／明星大学／山形大学／横浜国立大学／立命館大学
和歌山大学／早稲田大学

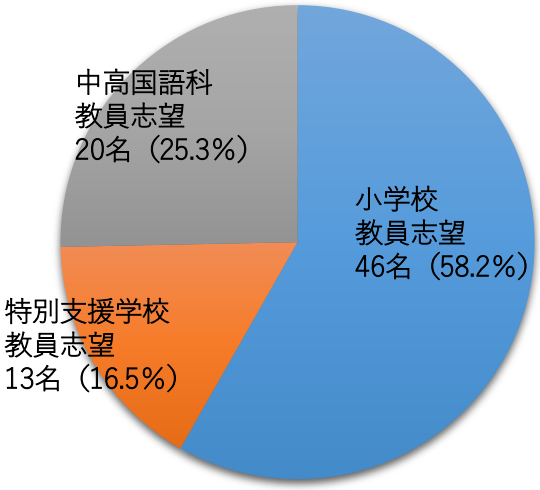
【奨学金給付内容】
・授業料相当額
大学生（国立）：年額60万円（月額5万円）
大学生（私立）：年額120万円（月額10万円）
大学院生：年額60万円（月額5万円）
・自宅外生への特別支援費：年額60万円（月額5万円）

【海外短期留学支援制度】
・優れた教員になるための経験として役立つと思われる海外短期留学や海外研修等
については、本人の申請と大学の推薦により支援する。
・渡航費（アジア地域5万円、その他地域10万円）
・留学・活動費（5万円／月）

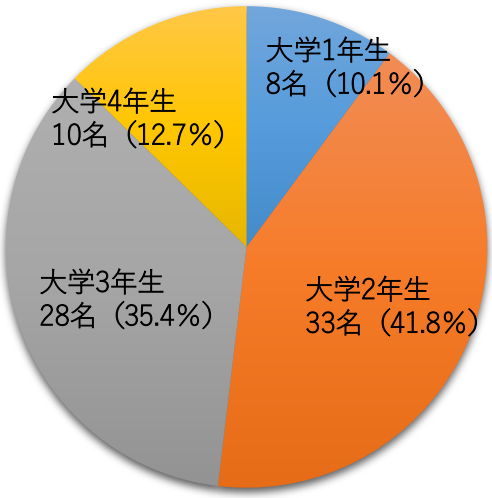
＜奨学生の内訳＞

①2020度新入奨学生（第三期生／79名）の内訳

志望校種別

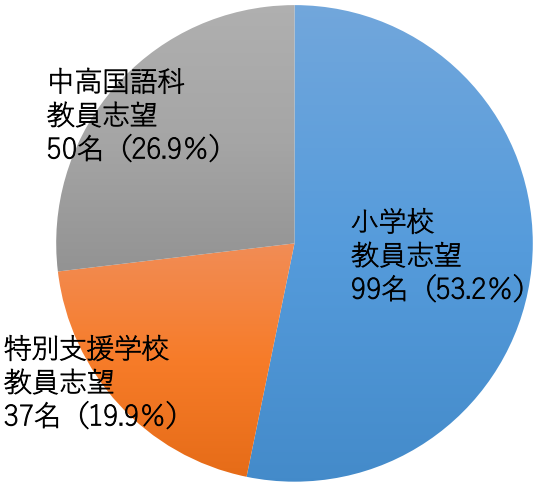


学年別

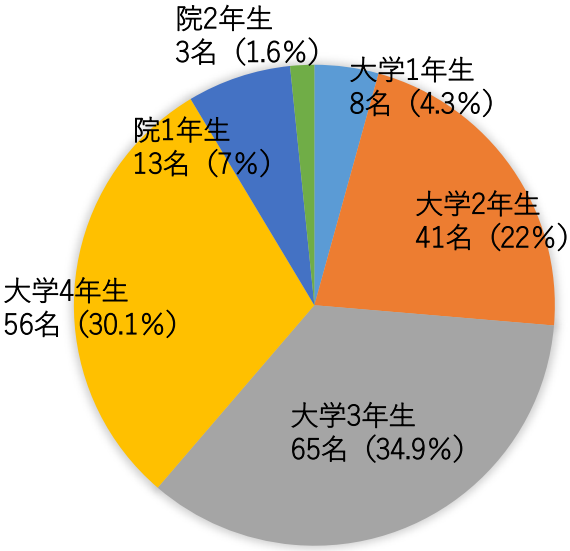


②2020年度在籍奨学生（第一期・二期生＋第三期生／186名）の内訳

志望校種別

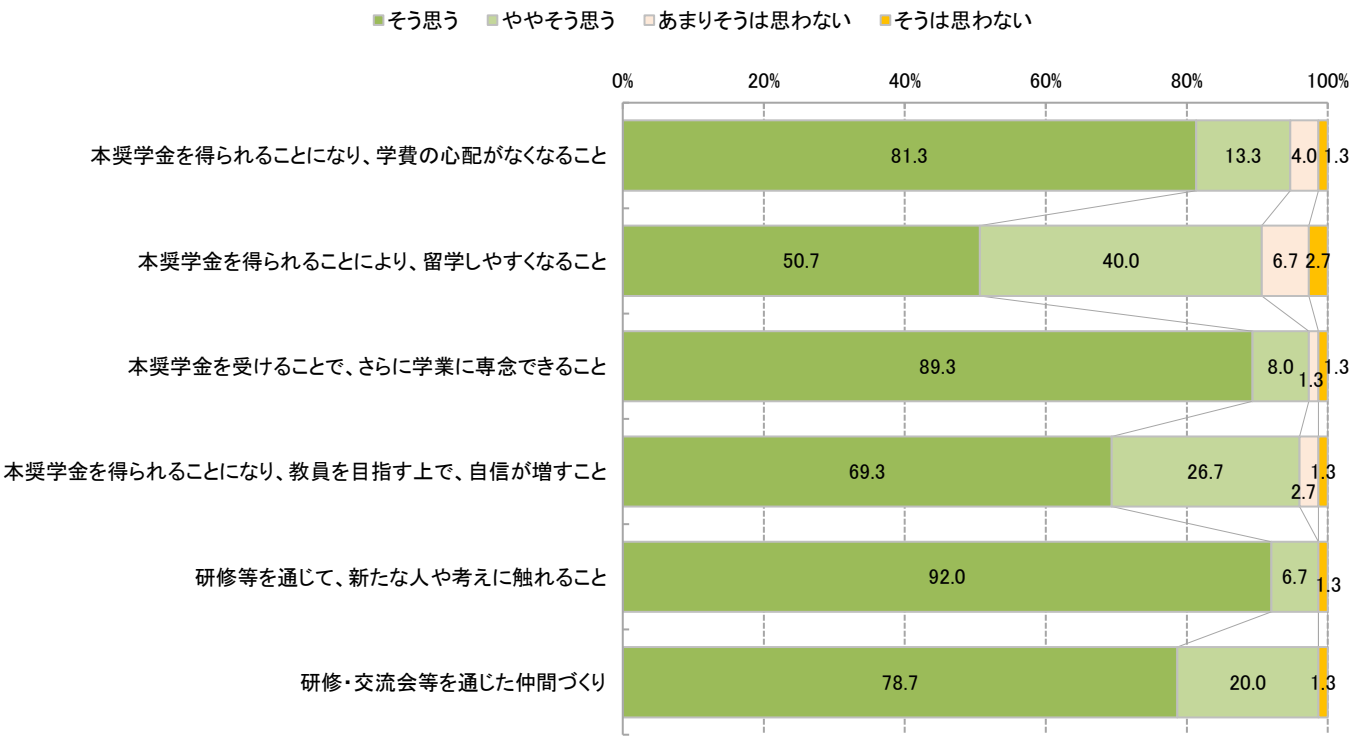


学年別



＜奨学生が当奨学金に期待すること／2019年度新入奨学生アンケートより＞

[Q]本奨学金への期待に関する各項目について、あてはまるものをお知らせください。



＜自由回答＞

○同じ教師を目指す奨学生と会う機会が増え、将来教師となったときもお互いに支え合えるような関係性を作ること。

【小学校教員志望/大学3年/女性】

○全国で同じ夢を持っている方々と関われることに期待しています。様々な刺激で自分をさらに高めることが出来ると思います。

【小学校教員志望/大学3年/男性】

○博報賞などを受賞された先生方などが行なっている研究の見学や授業の見学などが出来たら良いなと考えています。

【中高国語科教員志望/大学3年/女性】

○他大学の学生との関わりを通して、自分の地域だけでなく様々な地域の学校教育の在り方を知ることができる。

【中高国語科教員志望/大学2年/女性】

○大学院に進学するという選択肢が増えた。また、その際はぜひ留学も検討したい。

【小学校教員志望/大学3年/男性】

○海外短期留学の支援がとても有り難く、海外ボランティアや博報財団が行っている取組についても参加してみたいと思っています。

【小学校教員志望/大学1年/女性】

＜研修プログラム＞

【目的】

1）奨学生（及び奨学生卒業生）間の交流の促進

・「教員になる」という同じ志を持ちながらも、
地域、大学、年次、校種志望 の違う多様な奨学生同士での交流を促し、
教育現場に出た後にも支えあえるネットワークに育てていく。

２）博報財団ならではの学びの場の提供

・大学教育とは違う視点での「学び」のきっかけづくり。
・普段接する機会の少ない「多様な分野の人や考え方」に触れることで考え方を広げ、
成長のきっかけに。

【研修の実施】

①新入奨学生歓迎オリエンテーション（新入奨学生のみ／1泊2日）
②スプリングキャンプ（全奨学生対象／2泊3日）

【参考／2018年度スプリングキャンプでの実施プログラム】

＜初日＞
夕方～　**交流会**

＜2日目＞
9時半～　**「素敵なオトナの単位をつくろう」**
（講師：（株）博報堂　ストラテジックプラナー　内山祐也、加藤由佳）

14時半～　**「私の心が動いたところ」**
～横浜市立大岡小学校と博報財団こども研究所による総合学習プロジェクト～
（講師：元文教大学教授・博報財団理事　嶋野道弘）

18時～　**懇親会・海外短期留学報告会**

＜3日目＞
9時半～　**「この時あなたはどう答えるか」**
（講師：（株）博報堂　クリエイティブプロデューサー　ひきたよしあき）

12時半～　**「どんな子どもも落ちこぼさない子ども対応をめざして」**
～不登校、ひきこもり、発達障害の子どもの支援実践～
（講師：特定非営利法人トイボックス　代表理事　白井智子）

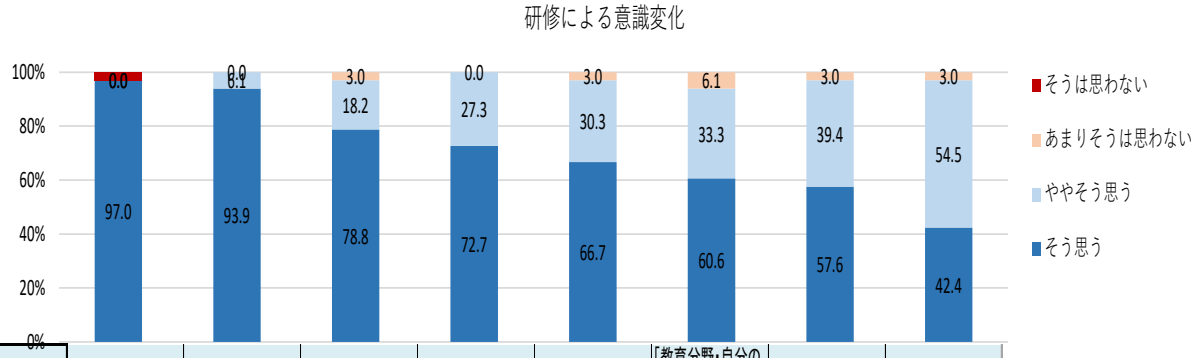
15時～　**「ＬＧＢＴを知る～多様な性のあり方～」**
（講師：（株）ＬＧＢＴ総合研究所　代表取締役　森永貴彦）

17時～　**振り返り～理想の教員になるために何が必要か～**

※ 2019年度のスプリングキャンプは、新型コロナウイルス感染防止のため急遽中止になりました。

（研修での奨学生の様子）

（研修後の奨学生アンケート結果）



トップボックス	N	奨学生同士の交流が深まった	新たな人や考えに触れることで、視野が広まった	今後も連絡を取り合い、高め合う仲間ができた・増えた	教員を目指すモチベーションが高まった	目指す将来像が、より具体的になった	「教育分野・自分の専門分野」以外の分野への関心が高まった	教育界のリーダーとして活躍する意欲が高まった	教員を目指す上で、自信が高まった
total	33	97.0	93.9	78.8	72.7	66.7	60.6	57.6	42.4
小学校教員	14	92.9	85.7	78.6	71.4	71.4	50.0	64.3	28.6
特別支援学校教員	5	100.0	100.0	60.0	60.0	80.0	60.0	80.0	80.0
中・高国語科教員	14	100.0	100.0	85.7	78.6	57.1	71.4	42.9	42.9
男性	9	88.9	88.9	77.8	88.9	88.9	66.7	88.9	66.7
女性	24	100.0	95.8	79.2	66.7	58.3	58.3	45.8	33.3
大学1.2年	11	100.0	90.9	90.9	72.7	63.6	63.6	36.4	27.3
大学3.4年	22	95.5	95.5	72.7	72.7	68.2	59.1	68.2	50.0

＜研修で得られたこと（自由回答）＞

○価値観や経験してきたことの全く異なる人と意見を交わすことが出来たこと。教育に関する様々なテーマに関して、たくさんの意見を聞いたり自分の意見を整理して伝えたりする活動を通して自分の価値観を再構築できたように感じる。特に、不登校やＬＧＢＴの児童に対する接し方については自分と全く違う考えを持つ奨学生が多かったように感じ、「子どもと向き合う」とはどういうことか自問自答する上で大変参考になった。

【特別支援学校教員志望／大学3年／女性】

○海外の学校を訪問して発表した奨学生たちに関しては、とても感動した。自分も是非行ってみたいと思ったし、経験を積まなければならないと思い知らされた。これからはもっと知識と経験を増やしていきたい。

【小学校教員志望／大学3年／男性】

○前回には話せなかった奨学生と話し、教員を目指す理由や今までの経験を聞くことが出来たという点はとても大きな成果だと考える。特別支援専攻の人たちとは滅多に話すことがないので、身内に支援が必要な人がいるだとか、実習で学んだ経験だとか、そういった貴重な話は実りある経験だった。

【中高国語科教員志望／大学2年／女性】

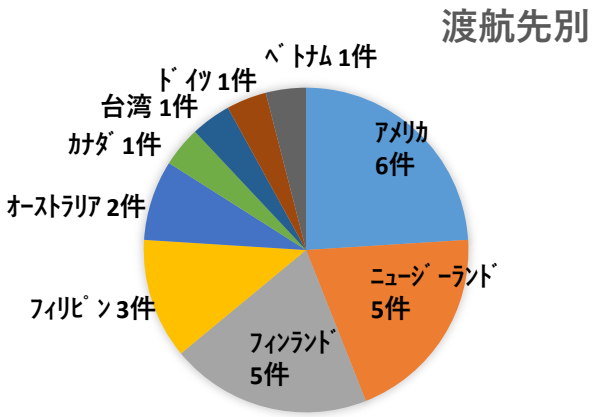
○一緒に学ぶ周りの仲間から、それぞれの理想とする先生像を聞き、自分の目指す先生像が明確になってきたことです。3日間の研修を通して、同じ教師という職業を目指している人であっても一人一人全然違った考え方があることを改めて感じる活動が多く、一人一人が強い志を持ち、自分の意見をしっかりと持って発言しているからこそ、言葉に重みがあり、様々な考え方を共有したいと強く思いました。

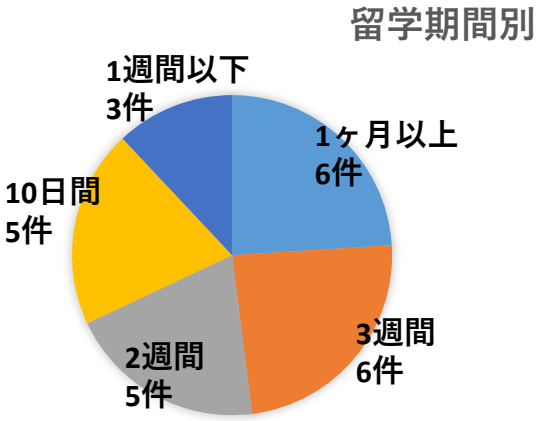
【小学校教員志望／大学3年／女性】

＜海外短期留学支援制度＞

【当支援制度を活用した留学実績】　25件
（利用率：19%、平均期間：3週間、平均支給額：152,000円）　2020年3月31日時点

【主な留学内容（行先・期間／目的）】
- フィンランド（10日間）／フィンランドの小学校現場教育の視察と教育実習
- フィンランド・オウル大（19日間）／フィンランドの教育システム視察
- アメリカ・オハイオ州立大（10日間）／特別支援短期研修プログラム参加
- アメリカ・ユタ（1ヶ月）／現地教師アシスタントと授業実習
- ニュージーランド・クライストチャーチ（1か月）／幼児教育視察と介護ボランティア活動
- フィリピン・セブ（15日間）／Global　Teacher　Program教育実習
- フィリピン・セブ（13日間）／現地小学校の補助教員体験
- フィリピン・マニラ（10日間）／学校現場の視察
- ベトナム・ホーチミン（6日間）／小学校現場視察





＜当財団他事業への参加（希望者のみ）＞

【目的】
- 「博報賞」「児童教育実践についての研究助成」等、当財団の他事業への参加し、優れた教育実践者や研究者の知見に触れ、交流を図る機会を提供する。

【奨学生の参加例】
- 「博報教育フォーラム」への参加
- 「博報日本語交流プログラム」の海外児童日本体験プログラムへのサポーター参加
- 「児童教育実践についての研究助成』成果発表会・交流会への参加
- 博報賞を受賞した先進的な取組を行う小学校への奨学生による取材（横浜市立白幡小学校）

＜近況報告会＞

【目的】

・地域ブロック毎に奨学生・卒業生の交流及び活動報告の場を作り、奨学生及び卒業生の輪が、将来、教育現場での＜学びあい、支え合いのネットワーク＞に育っていくことを目指す。

【2019年度 実施概要】

・東京会場
期　日：2019年12月1日（日）13：00～17：30
参加者：北海道、東北、関東、甲信越地区を中心に、２４大学５１名が参加

・大阪会場
期　日：2019年10月26日（土）１３：００～１７：３０
参加者：関西、中部、中四国、九州地区を中心に、２７大学５８名が参加

※東京大阪の開催日の午前中に、大学院進学志望者の面接を実施

＜奨学生ＷＥＢマガジン＞

【目的】
・奨学生及び卒業生の交流促進の一環として、奨学生及び卒業生の活動や近況を紹介するＷＥＢマガジンを奨学生、卒業生、大学担当者様へ配信

（2019年度に配信したWEBマガジンの内容）
・海外児童サポーターレポート
・教育イベント参加レポート
・新入奨学生歓迎オリエンテーション
・白幡小学校取材レポート
・第50回博報賞 教育フォーラム参加レポート
・近況報告会レポート
・教員採用試験合格体験記

（2020年度に配信したWEBマガジンの内容）
・奨学生のボランティアについてのレポート
・OBOG準備委員会の活動レポート
・海外短期留学体験記